

特別会計

特定の収入があり、目的ごとに使い道をはっきりさせるための会計です。



会計別	歳入総額	歳出総額	差引額
国民健康保険費	90億5,412万円	87億6,451万円	2億8,961万円
公共用地等造成費	2,121万円	1億4,565万円	△1億2,444万円
公設卸売市場費	3,678万円	3,615万円	63万円
高等学校費	5億5,399万円	5億5,355万円	44万円
企業用地造成費	2,848万円	405万円	2,443万円
農業集落排水事業費	2億6,178万円	2億6,133万円	45万円
介護保険費	89億3,166万円	84億5,718万円	4億7,448万円
後期高齢者医療費	14億1,285万円	14億1,137万円	148万円
合計	203億87万円	196億3,379万円	6億6,708万円

企業会計

民間企業と同じように、料金などの収益で運営する会計です。

各企業会計	収入	支出	差引	
病院事業	収益的	127億4,025万円	124億6,994万円	2億7,031万円
	資本的	4億3,527万円	10億5,353万円	△6億1,826万円
水道事業	収益的	16億9,873万円	17億7,832万円	△7,959万円
	資本的	4億9,743万円	12億6,748万円	△7億7,005万円
下水道事業	収益的	30億6,994万円	25億3,655万円	5億3,339万円
	資本的	12億373万円	20億959万円	△8億586万円

収益的 病院診療報酬、水道料金、下水道使用料などの収入と人件費や維持管理費など事業の運営に必要な支出
資本的 企業債など財源となる収入と、将来の営業活動に備えて行う施設の整備などの支出



【病院事業】

- 市立総合病院
1日平均 入院 289人 外来 788人
- 市立栗沢病院
1日平均 入院 47人 外来 44人

【水道事業】

給水戸数	43,068戸
給水人口	77,454人
総配水量	9,396,238m ³
1日平均配水量	25,743m ³

【下水道事業】

処理区域面積	2,364ha
普及率	88.1%
水洗化率	99.2%
処理水量	10,942,202m ³

財産

市有財産の状況 (令和3年度末)

建物	548,503m ²
土地	28,933,511m ²
山林	17,061,897m ²
機械器具(車両)	217台
基金	
土地	494,145m ²
現金	135億1,651万円
有価証券	4,572万円
出資による権利	4億3,546万円

市税の負担状況

金額	8,491,659,500円
1人当たり	109,553円
1世帯当たり	206,198円
令和4年3月31日現在 人口 77,512人 世帯数 41,182世帯	



借金

市債の残高 (令和3年度末)

各会計	現在高
一般会計	639億1,464万円
特別会計	3億4,446万円
公共用地等造成費	1,394万円
高等学校費	4,938万円
農業集落排水事業費	2億8,114万円
合計	642億5,910万円

いわみざわの家計簿

問合せ 財政課予算グループ ☎ 35-4842

市は、4月から翌年3月までの1年間を一区切りにした会計年度ごとに、皆さんが納めた税金などの入ってくるお金(歳入)と、それをどのように使うか(歳出)を決める予算を組み立て、議会の議決を得てさまざまな事業を行っています。そして、年度の最後に歳入と歳出、預金や借金の状況を明らかにする決算を行い、議会の承認を受けています。

今月号は、一般会計、特別会計、企業会計の令和3年度の決算の内容と令和4年度の予算の執行状況をお知らせします。

令和3年度 決算

一般会計

福祉事業や道路の整備など、市の基本的な事業の会計です。

歳入 566億1,416万円

歳出 561億3,779万円

地方交付税 158億9,326万円 28.1%
国(国税など)からの交付金

民生費 146億3,420万円 26.1%
児童・高齢者・障がい者福祉、生活保護など

前年度比 特別定額給付金事業の終了などにより、34億7,573万円減

総務費 136億407万円 24.2%
住民票の発行などの一般的な事務

国庫支出金 114億4,892万円 20.2%
使い道を特定された国からの補助金など

前年度比 特別定額給付金事業費補助金の終了などにより、59億825万円減

市税 84億9,166万円 15.0%
市民税、固定資産税など

土木費 64億5,652万円 11.5%
道路・公園・市営住宅の整備、除排雪など

市債 67億6,530万円 12.0%
長期的な借入金

公債費 57億2,118万円 10.2%
借入金の元金と利子の返済

前年度比 市役所新庁舎の建設などにより、2億7,180万円増

教育費 47億3,356万円 8.4%
小・中学校教育、生涯学習など

道支出金 37億4,112万円 6.6%
使い道を特定された北海道からの補助金など

衛生費 41億8,155万円 7.5%
ごみ処理、健康診断など

諸収入 26億4,865万円 4.7%
貸付金の償還金など

農林水産業費 22億5,754万円 4.0%
農業・林業・畜産の振興など

その他 76億2,525万円 13.4%
各種交付金、保育料や学校給食費、市営住宅の家賃など

商工費 18億7,959万円 3.3%
商工業の発展、観光の振興など

消防費 12億3,094万円 2.2%
消防署などの運営

その他 14億3,864万円 2.6%
議会、公社への貸し付けなど

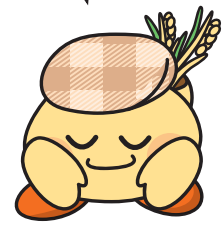
収入と支出の差引額 4億7,637万円(財政調整基金へ積み立て 1億9,902万円、令和4年度へ繰り越し 2億7,735万円)



健全化判断比率など

自治体の財政状況を示す指標である健全化判断基準は、いずれの指標も基準を下回っており良好な水準です。これらの数字を上回った場合は、財政再建が必要となります。

市の借金である市債残高は増加傾向にありますが、交付税算入のある「良質な地方債」を中心に借り入れるなど、健全な財政運営に努めています



健全化判断比率			
指標名	岩見沢市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 一般会計等の赤字を市税などの財政規模と比較する割合	黒字	12.08%	20%
連結実質赤字比率 一般会計のほか、特別会計、企業会計すべての会計の赤字を市税などの財政規模と比較する割合	黒字	17.08%	30%
実質公債費比率 財政規模に対する借入金の返済額およびこれに準じる額の割合	9.4%	25%	35%
将来負担比率 一般会計の借入金や将来支払っていく可能性のある負担などの割合	75.4%	350%	

資金不足比率		
指標名	会計名と割合	経営健全化基準
資金不足比率 国民健康保険費、介護保険費、後期高齢者医療費を除く特別会計と企業会計の資金不足を料金収入の規模と比較する割合	資金不足が生じている会計はありません	20%

令和4年度 予算の執行状況 令和4年4月1日～9月30日

一般会計・特別会計

市債の現在高

区分	予算額	収入済額	収入率 (%)	執行済額	執行率 (%)	
一般会計の合計	509億3,376万円	201億8,137万円	39.6	198億5,544万円	39.0	
特別会計	国民健康保険費	90億708万円	38億9,663万円	43.3	32億7,921万円	36.4
	公共用地等造成費	1億3,399万円	320万円	2.4	1億2,632万円	94.3
	公設卸売市場費	3,934万円	2,297万円	58.4	2,251万円	57.2
	高等学校費	5億6,736万円	2億5,869万円	45.6	2億5,606万円	45.1
	企業用地造成費	941万円	2,630万円	279.5	74万円	7.9
	農業集落排水事業費	2億4,514万円	1,325万円	5.4	9,572万円	39.0
	介護保険費	95億7,831万円	39億9,976万円	41.8	35億5,664万円	37.1
	後期高齢者医療費	15億1,149万円	4億1,108万円	27.2	3億7,123万円	24.6
	合計	210億9,212万円	86億3,188万円	40.9	77億843万円	36.5

一般会計	611億5,640万円
特別会計	3億2,794万円

企業会計

病院事業会計		
収益的	収入	51億4,958万円
	支出	57億3,224万円
資本的	収入	147万円
	支出	3億8,378万円

水道事業会計		
収益的	収入	10億4,828万円
	支出	4億9,541万円
資本的	収入	0円
	支出	3億8,928万円

下水道事業会計		
収益的	収入	8億6,748万円
	支出	3億9,624万円
資本的	収入	7,281万円
	支出	3億9,883万円